

学校経営の基本

全ての生徒・教職員の可能性を最大限に引き出し、生き生きと活動できる学校

- 自学自習・自走できる生徒の育成を通して、予測困難な時代を生き抜く力を身に付けた生徒の育成に努めます。
- 命を大切に人権教育を基盤とし、「生徒・教職員が生き生きと活動できる学校づくり」に努めます。
- 多様性を認め、人権意識や危機意識の高揚を図り、いじめを許さない安心・安全な学校づくりを推進します。
- 生徒や保護者、地域の願いや期待に応え、信頼される学校づくり、統合中学校の土台づくりを推進します。
- 生徒理解に努め、教職員の英知を結集させ、学校教育目標の具現化に努めます。

学校教育目標

ふるさと山南を愛し、社会の変化に柔軟に対応できる生徒の育成

重点努力目標

- 人権尊重の精神を基盤にした学校教育の充実（自己肯定感を育み、主体性に満ちた活力ある学校づくり）
- 自学自習・自走できる生徒の育成に向けた授業改善と教育活動の焦点化
- 挨拶、清掃、時刻を守る、物を大切に等、基本的な生活習慣や規則正しい生活リズムの徹底
- 「地域とともにある学校」を推進し、統合中学校開校に向けて準備を整える。

めざす教職員像

- 学校教育を取り巻く環境の変化を前向きに受け止め、生涯を通して学び続け、生徒一人一人の学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援する伴走者を目指します。
- 人権意識、危機管理意識の高揚を図り、豊かな人間性の涵養に向けて尽力します。
- 「報告・連絡・相談」を密にし、迅速・的確な対応で、保護者・地域に信頼される学校づくりを進めます。
- 働き方改革を推進することで、生徒と教職員の幸せを両立させます。

めざす生徒像

自学自習・自走できる生徒	思いやりのあるところ豊かな生徒	未来に向けたくましく生きる生徒
具体的努力目標		
個別最適な学び、協働的な学びの推進 ・シラバスによる評価の見える化 授業のユニバーサルデザイン化研修 ・生徒の側に立った授業の工夫改善に努める。生徒理解の推進。 ・探求型授業の推進を図る。 ・「主体的な学び」「協働的な学び」を意識した指導を展開する。 学校教育の質の向上に向けたICTの活用 ・末端の活用を「当たり前」とし生徒が自由な発想で活用するための授業デザイン ・不登校を含め特別な支援が必要な生徒への学びの提供 学習規律の徹底 ・「学習における5つのルール」を徹底。 基礎基本の定着 ・やまなみチャレンジ、毎日漢字の推進 ・複数体制によるきめ細かな指導や能力に応じた指導を展開 家庭学習の習慣化と時間の確保 ・ICTを活用した家庭学習の充実 ・毎日課題や自主学習の指導 ・2時間以上の家庭学習の習慣化	コミュニケーション力の育成 ・多様な価値観を認める教育の推進。 人権教育の充実 ・すべての教育活動で人権意識の高揚、思いやりの心を育む。 自己肯定感を育てる指導の展開 ・認め・褒め・伸ばす教育を推進する。 ・達成感を味わわせ、自己肯定感を育成する。 いじめ・不登校の未然防止 ・居場所づくり・絆づくり、信頼づくり ・「山南中ネット5原則」の徹底 新時代の特別支援教育の充実 ・たんぼぼ・こすもす学級を核とし、支援を要する生徒への支援を充実させる。 ・在籍する通常学級の一員としての活動の充実 組織的な生徒指導体制の構築 ・生徒の話を傾聴し、相談しやすい体制づくりを推進する。（やまチャレII） ふるさと意識の醸成 特別の教科「道徳」の指導の充実	基本的生活習慣の確立や生活リズムの徹底 ・当たり前の事を確実に実行させる。 ・早寝、早起き、睡眠時間の確保。 ・ あいさつ運動の徹底 体づくりの推進 ・科学的根拠に基づく部活動の推進 危機管理能力の育成自分の命は自分で守る ・交通ルール、マナーの遵守を通して、社会性や安全意識の高揚 規範意識と協調性を養う 「報・連・相」体制を確立し、生徒理解に努め、組織的な生徒指導・生徒支援を展開す。 キャリア教育の推進 ・社会に活かせる資質や能力を培う。 生徒の自治的な活動の推進 ・生徒会活動、部活動の活性化。 ・「さくら学級」「平和推進委員会」の意義と活動の検証 小中連携の推進 ・ 統合準備の完結 家庭、地域、関係機関との連携 ・統合中学校運営協議会設立に向けた熟議 ・統合準備委員会との連携

生徒の実態

- 優しく接する生徒や、正義感を持った生徒が多い。 ●自分の思いや考えを表現すること、聴く力が育っていない。
- 学校・地域を誇りに思い、協力して意欲的に取り組む。 ●将来の夢を持っている生徒が少なく、自尊感情も低い。
- 生活が安定しているため、当たり前のことができる。 ●与えられた課題には真面目に取り組むが向上心に欠ける。